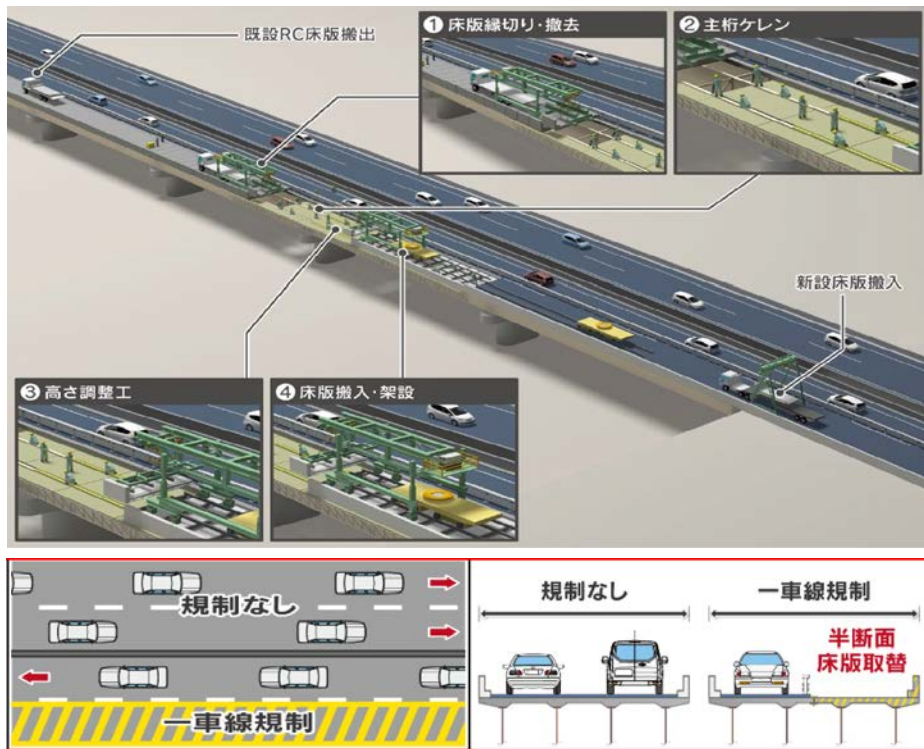


技術概要書（様式）

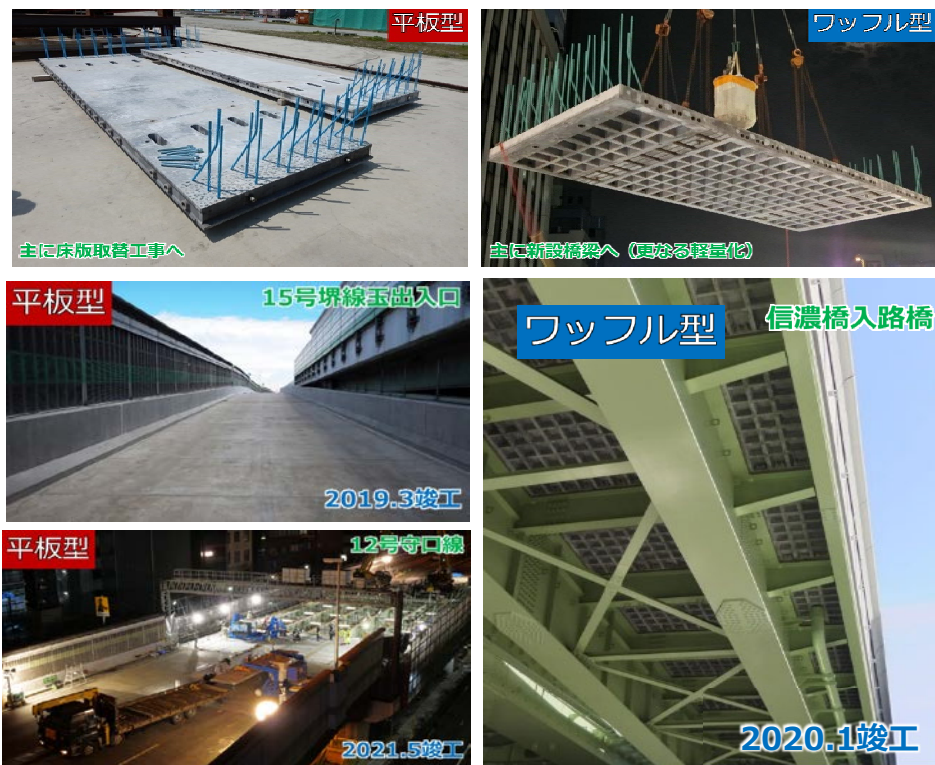
※別紙2

|  |  |      |              |
|--|--|------|--------------|
| 出展技術の分類  | 安全・防災 <input type="checkbox"/> インフラDX <input checked="" type="checkbox"/> 維持管理 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> 品質 <input type="checkbox"/> <b>（該当分類に○を付記）</b>  |      |              |
| 技術名称   | 道路橋床版更新技術  | 担当部署 | 九州支店土木部      |
| NETIS登録番号  |  | 担当者  | 安井 信吾        |
| 社名等  | 鹿島建設（株）  | 電話番号 | 092-481-8012 |
| 技術の概要  | 1. 技術開発の背景及び契機   |      |              |
|  | <p>高度経済成長期に整備された道路橋は、大型車の通行量の増加や凍結防止剤の散布などにより、急速に劣化が進行しており、適切な維持管理および更新が喫緊の課題となっています。</p> <p>道路橋の床版取替工事にあたっては、工事に伴うソーシャルロスを低減するため、交通規制期間や交通規制範囲を最小限にする技術に加え、近接する交通や周辺施設への安全を確保できる施工法が求められていました。また、道路橋床版については、老朽化が進み、抜本的な対策が必要な既設道路橋床版の取替えにも適用が可能な床版の開発が求められていました。</p>  |      |              |
|  | 2. 技術の内容   |      |              |
|  | <p>『スマート床版更新(SDR)システム®』は、床版取替工事における4つの作業を同時並行で連続的に施工することで、床版取替作業の高速化を実現します。『UFC道路橋床版』は超高強度繊維補強コンクリート(UFC)で製作され、材料が保有する特徴を生かし、道路橋床版に求められる作業性や長寿命性を確保しています。”合理的な施工システム”と”高性能材料による道路橋床版”の2つの技術により、ソーシャルロスの低減と経済性に配慮した道路橋リニューアルの実現に貢献します。なお、UFC道路橋床版は阪神高速道路との共同開発技術です。</p> |      |              |
|  | 3. 技術の効果   |      |              |
| <p>『スマート床版更新(SDR)システム®』によって、床版取替工事による通行止めや車線規制時間の短縮を実現し、事業区域周辺における渋滞発生等の工事に伴うソーシャルロスの低減が可能となります。</p> <p>超高強度繊維補強コンクリート(UFC)で製作された『UFC道路橋床版』は、軽量ゆえに、鋼桁・橋脚・基礎補強の最小化が図れるとともに耐震性にも優れています。また、組織が非常に緻密なため、塩化物イオンが浸透しにくく、通常のコンクリートに比べて約3倍の長寿命が期待できます。</p> |  |      |              |
| 4. 技術の適用範囲   |  |      |              |
| <p>道路橋床版更新工事<br/>道路橋補修維持管理工事</p>   |  |      |              |
| 5. 活用実績  |  |      |              |
| <p>国の機関 0件（九州 0件、九州以外 0件）<br/>自治体 0件（九州 0件、九州以外 0件）<br/>民間 4件（九州 0件、九州以外 4件）</p> <p>なお 今後 7件施工予定</p>   |  |      |              |

6. 写真・図・表



図一 幅員方向分割スマート床版更新(SDR)システム



図二 UFC床版と工事適用状況